



●インストラクタ体験記

社団法人 情報通信エンジニアリング協会の 出向を終えて

株式会社コミュニチュア 初野 正之



光技術講義

◆はじめに

平成21年11月より、社団法人情報通信エンジニアリング協会アクセスグループ（現アクセス部門）のインストラクタとして出向してから早いもので2年1カ月が経ち、無事に
出向を終えることができました。

はじめは、インストラクタとして人に教えることが不安で、戸惑う日々を過ごしたことを今でも覚えています。

しかし出向前、自社では入社してから、NTT工事におけるサービス総合工事・一般工事の設計業務、NTT研究開発センタへの出向、民需系工事における施工管理業務、NTT工事におけるサービス総合工事の施工管理業務、とさまざまな業務をさせていただき、その経験を元に、協会の先輩方、会員会社の皆様方から指導をいただき、さまざまな

経験から学び、なんとか出向期間最後まで業務を遂行することができたことを、感謝しております。

◆研修センタでの業務

1. 教材予算策定、支出管理

アクセス系の訓練は、当該訓練で使用する材料・工具が多様化しており、実習ごとに使用する物品と数量の把握に、はじめは大変苦労しました。その中で、実習ごとの使用材料・工具を把握し、計画受講者数を元に予算を策定しました。月次管理については、予算ベースに、教材購入を行い、全ての購入に対して、見積依頼から請求処理までの業務を行ってきました。その中で、常にコスト削減を意識し、各メーカーの見積り段階で再三なる折衝を行い、価格の低減化を図り訓練費用のコストダウンに努めました。また、教材費

の月次管理を行うと同時に、四半期ごとに材料購入計画の見直しを行いました。予算管理を通して、お金の流れ、科目別管理ノウハウを学ぶことができました。



服装点検

2. インストラクタ業務

アクセス系の訓練では新入社員向けの基礎訓練、中級者向けの光ファイバケーブル技術科、メタリックケーブル接続科等、宅内系ではIPメンテナンス技術訓練科等、指導者向けでは架空技術者「光・メタル」訓練科（SLA指導者）等、安全関係では危険体感訓練、その他では、安全パトロール実践訓練、公開講座等の訓練担任業務および座学並びに実習を行い、指導のあり方など数多くのノウハウを学びました。



光接続実習

3. カリキュラム検討

メタル系切替工事に伴う誤切断等の防止に向けた、新規科班「工事施



CCP接続実習

工試験訓練科」のカリキュラムおよび実習環境の構築をアクセス部門の皆様と協力して行いました。この業務を通して、訓練を立ち上げるノウハウを学ぶことができました。

4. 北海道張出し訓練

今年度より協会組織の見直しに伴い北海道支部が廃止され、昨年度まで北海道支部で実施していた訓練（基礎訓練線路科等全12科班）を東日本研修センターで実施することとなりました。

その訓練実施に向けての準備を協会の皆様と行わせていただきました。北海道支部で行っていたカリキュラムと東日本研修センターで行っているカリキュラムの相違を洗い出すことから始まり、北海道で実施した場合の費用収支検討を行う等の業務を通して、多くのことを学ぶことができました。

◆心に残ったこと

平成23年2月に岩手県藤沢町のIRU工事支援に行ったことです。大和電設工業の中で約1カ月間、竣工処理業務に携わり、良い経験をさせていただき感謝しております。その直後に東日本大震災が発生し、言葉

では表わすことができない気持ちになりました。その後自社の復興支援は、気仙沼と聞き、そのとき一時的に使用した宿は、私がIRU工事支援で使用していた宿と同じだとわかり、何か繋がりがあると感じ、心の底から頑張ってもらいたいと思いました。

◆経験

アクセス部門長より主な指導として2つ。1つ目は、常に問題・課題意識を持ち、業務へ取り組むという

こと。その中で、教材予算策定・支出管理、インストラクタ業務、カリキュラム検討等さまざまな業務を行いました。

二つ目は、資料の見方には2つの視点（資料の内容と作成方法）があるということ。その中で、訓練実施結果のまとめ、決裁文書作成、全訓練科班受講者数データのまとめ等さまざまな資料作成を行いました。このような経験から多くのことを学ぶことができました。また、訓練実施に向けてさまざまな方との出会いがあり、NTTをはじめ、各通建会社・関連会社・メーカー等との交流を通じて人との繋がりができました。自社に戻った際には、協会での経験を元に、新たな気持ちで今後の業務に活かしていきたいと思っています。

◆最後に

このような機会を与えて下さったコミュニティアの皆様方並びに貴重な経験をさせていただいた東日本研修センターの皆様方に心より感謝し、厚く御礼を申し上げます。今後は自社の研修センターの育成担当として、この経験を十分に活かしていきたいと思っています。



架空光設備説明